

学校応援プロジェクト 2026 年度活動報告

中央大学附属横浜中学校 進路・キャリア教育プロジェクト

今プロジェクトは、2026 年 6 月 20 日(土)に中央大学附属横浜中学校にて実施されました。中央大学が実施する「中央大学と附属校の教育プログラム」の一環として、「なぜ大学で学ぶのか？」をテーマに、毎年この時期に行っています。今回は、中学 3 年生に大学での学びや大学生活を具体的にイメージし、大学で学ぶ面白さや進路の選び方について考えるきっかけを作ってもらうことを目的として実施しました。当日は、大学 1 年生～4 年生までの 29 名の学生が参加し、5 クラスに分かれてそれぞれの教室で「大学ガイダンス」「アイスブレイク」「キャリア相談」を行いました。



大学ガイダンス

今回は、「大学では何を学ぶのか」を中心に生徒さんたちにお話ししました。中央大学だけではなく、「大学」全般について生徒さんに説明しました。最初におこなった「大学クイズ」では、各クラス「え～！本大量!!」「授業長すぎて大丈夫かな？」といった反応が聞こえてきて、生徒さんたちの興味を引く始まりとなりました。



その後は中学校・高校で勉強する意味や、中学校・高校と大学での学び方の違い、文系理系の違いの説明、大学にある学部紹介が続きました。質疑応答ではどのクラスもたくさんの生徒さんが手を挙げてくれて、学生も熱意をもって楽しく答え、とても盛り上がりました。途中停電というハプニングがありましたが、質疑応答やフリートークで場をつないで、臨機応変に対応できました。

アイスブレイク

休憩を挟んだ後、アイスブレイクを行いました。この後の班で行うキャリア相談において、生徒さんと学生の距離が縮まった状態で意見が出やすくなるようにする意図があります。今回は「あたまおしりゲーム」を行いました。これは、お題として提示された 2 文字が語頭(あたま)と語尾(おしり)になる言葉を答えるゲームです。学生が生徒さんたちの班に 1 人ずつ入って班対抗で行いました。生徒さんたちが思いつく言葉は流行や得意分野、最近学校で習った単語など様々で、解答例が出ると



「たしかに～」 「思いつけたのに！」 という声が飛び交い、生徒さんと学生との距離感も近づきました。

キャリア相談

アイスブレイクによって生徒さんと学生の距離が縮まった後、少人数で大学生に直接質問ができるキャリア相談を、各クラス 5 班に分かれて行いました。実際の時間割や授業資料、教科書を見せながら説明し、生徒さんたちが身を乗り出して話を聞く様子が見られました。生徒さんたちが事前学習として質問を考えて来てくれたため、質問も回答もたくさん飛び交いました。多くの班が事前に用意してくれた



質問が尽きても、新しい質問を次から次に引き出して、班によっては惜しくも質問しきることができないところもありました。大学での学びの楽しさや学部・専攻の選び方、大学生活など、「大学」について生徒さんたちにより身近に感じてもらえたのではないかと思います。

今プロジェクトでは、学生の専攻内容や所属、得意教科などが生徒さんたちに伝わりやすいように、「自己紹介カード」を作るなど新しい活動を取り入れました。また準備段階では、学年を超えて学生同士がコミュニケーションを密にとり、生徒さんに満足していただけるように、綿密な準備を行えました。

当日も、停電というハプニングがありながらも計画に沿って、時には臨機応変に対応することができ、無事に進行することができました。熱意をもって「大学」についてを伝え、生徒さんたちの興味や楽しさを引き出して、有意義な時間にできたのではないかと感じています。

今回のプロジェクトが生徒さんたちにとって今後の進路選択に少しでも役立つものになれば、私たちにとってはこれ以上ない喜びです。

また、学生も実際に生徒さんたちと関わることで、話し方や目線の合わせ方、コミュニケーションの取り方など、今後に活かせる課題を見つけることができました。

中央大学附属横浜中学校の先生方・生徒の皆さん、今プロジェクトの機会をいただき、本当にありがとうございました。